

株式会社 キヨウエイファイン

従業員数64人 業種:道路貨物運送業

定着率

98%

株式会社 クラフト

従業員数30人 業種:情報サービス業

定着率

89%

人が定着する職場の秘訣

経営者も従業員も仕事を「楽しむ」

●キヨウエイファイン 代表取締役 坂元 貞仁

「仕事を楽しむ」ための月間行動テーマ

一般的に人の入れ替わりが激しいとされる運送業界。その中で、キヨウエイファインの坂元社長は「人が辞めない会社づくり」に取り組んでいます。

坂元社長へのインタビューで繰り返し出てきたキーワードは「楽しむ」。仕事内容に関係なく、楽しい環境で過ごせることが定着のカギだと、坂本社長は語ります。

そんなキヨウエイファインのユニークな取り組みが、月ごとに設けられた行動テーマと、それにちなんだイベントです。例えば「子孝行月間」の1月には、従業員が子どもを職場に連れてきて、お父さん・お母さんの働いている姿を見せたり、

フォークリフト体験をさせてあげたりと、子どもとの時間を大切にするプログラムが。他にも、スポーツ大会で親睦を深める「スポーツの秋月

間」や、親孝行のために全員に会社から1万円を支給する「親孝行月間」など様々。

仕事を「楽しむ」という考えのもと、これを取り入れてからは、定着率も求人の応募数もグンとアップしたそうです。

みんなの関係性が「仲のいい先輩・後輩」

楽しく働く上で最も重要なのは人間関係だと、坂元社長は言い切れます。人間関係が良ければ単純に一緒に仕事をして楽しいし、仕事上で不得手な部分はお互いに補い合うことができます。

キヨウエイファインの人間関係については「ピラミッドをなくしたい」と坂元社長。

新入社員には、「**入社後すぐに、できるだけ多くの従業員との接点を持たせます。「全員が先輩。誰にでも相談できる**」という環境を作り出すの

だそうです。

そして、坂元社長ご自身が**従業員と接するとき、壁を感じさせないコツは「一緒に一息つくこと」**。ユーモアを交えて笑いながら話してくれましたが、「一緒にジュースを飲んで樂しく話す空間ができることが大事」という言葉には、実に説得力がありました。

従業員の定着を考えたときに、**経営者にとって一番大切なことは、「経営者自身も仕事を楽しむこと」**。お互いが楽しんで仕事をしていれば人間関係は良くなるし、人間関係が良ければ**仕事は楽しくなる**。このシンプルな好循環が社内で「当たり前」になっていることが、「人が辞めない会社」の土台になっているようです。



株式会社キヨウエイファイン
坂元 貞仁さん
代表取締役
所在地／愛知県豊田市
電話番号／0565-25-1815
【愛知県ファミリー・フレンドリー企業】



人が定着する職場の秘訣

多国籍だからこそ、従業員一人ひとりの目線で

●クラフト 代表取締役社長 張 有志

定着に一番大切なのはコミュニケーション

CG制作、アプリ開発、ロボット・VR技術の研究開発を行っているクラフト。世界的に有名な大作映画やアニメなどを世に送り出すグローバルIT企業は、従業員の国籍も様々です。

そんなクラフトを束ねる張社長が大切にしているのは、社員と過ごす時間。名古屋本社の他に東京と韓国に支社があり、オフィスを忙しく飛び回っている張社長ですが、各事務所に足を運んだときは、**そこに勤務している従業員一人ひとり必ず接点を持つように**しているそうです。

月1回開催している社内イベントも、張社長自らがアイデアを出しています。その企画は、日本の食文化を楽しむ「日本酒パーティ」、みんなで身体を動かす「フィットネスイベント」「サバイバルゲーム」など様々。



株式会社クラフト
張 有志(チャン リュンヒ)さん
代表取締役社長
所在地／愛知県名古屋市東区
電話番号／052-684-6357



それを従業員全員で実施しているというのを聞くと、会社全体の人間関係の良さが外からでも見えるようです。

「社員の定着に一番大切なのはコミュニケーション」という張社長の言葉は、クラフトの中を見ると一層の説得力を持ちます。

従業員と接するときはその従業員の言葉で

多国籍な企業で問題に挙がるのは言葉の問題。クラフトでも、日本のほか、韓国、インド、ニュージーランドと様々な国籍の従業員が働いていて、さらには海外に向けてのビジネスもしているだけあって、社内では様々な言語が飛び交います。

クラフトでは、外国籍の従業員のために、従業員が日本語を学ぶ機会も提供していますが、共通言語を必ずしも日本語に限定することはありません。**社長や上司がその従業員**

の話せる言葉を学び、コミュニケーションを図っているのです。

それはきっと、外国から日本にやってきた従業員には心強いはず。言語の違いの問題を、部下との信頼関係のきっかけに変えてしまったという見方もできるかもしれません。

「文化や価値観の違いがあるからこそ、同じ空間で、同じことをすることを第一に考えています」と話す張社長。

コミュニケーションと、従業員一人ひとりの目線で会社を見る張社長の姿勢が、従業員にとって最高に居心地がいい職場を作り出し、定着へつながっているでしょう。